

ウェザーニューズ、2017年「第八回桜開花予想」を発表

今週いよいよ青森・弘前公園が開花！GWは北海道で桜の季節に ～五稜郭公園は5月1日に満開の見込み、札幌市のお花見はGW後半がおすすめ～

株式会社ウェザーニューズ(本社:千葉市美浜区、代表取締役社長:草開千仁)は、4月13日(木)～15日(土)に今シーズン 8 回目の「全国つぼみ調査」を実施し、本日「第八回桜開花予想」を発表しました。信越や東北南部の市街地の桜は見頃を迎えており、桜の開花前線は東北北部まで北上しました。青森県内では、青森市を中心に少しずつ桜が咲き始めており、弘前公園(青森県)は明日19日に開花し、24日に満開の予想です。来週後半には開花前線が津軽海峡を渡り、北海道で桜の季節が始まります。桜の開花時期は例年並で、五稜郭公園(北海道)は27日に開花し、5月1日に満開、4日に桜吹雪の予想で、ちょうどGWにお花見を楽しむことができます。GW後半には、札幌市や帯広市の桜も満開となる予想です。

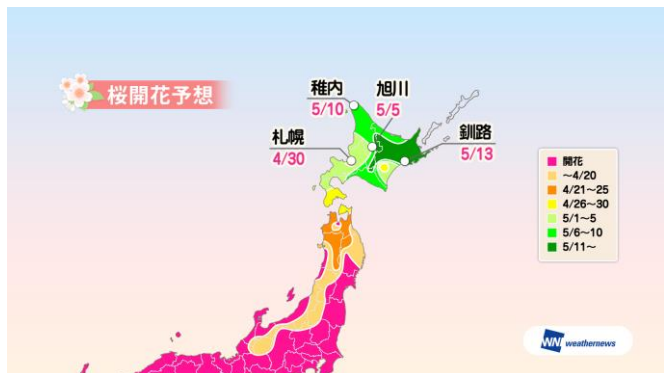
本開花予想は、3日間にわたって実施された今シーズン 8 回目の「全国つぼみ調査」の482通の報告、「さくらプロジェクト」の参加者から届く桜レポート、今後の気象予測などをもとに算出しています。全国のお花見名所の予想など最新情報は、スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」や、ウェブサイト「ウェザーニューズ」の『さくらCh.』からご覧いただけます。

本プレスリリースの素材のダウンロード	全国の名所 700カ所の桜情報	
ウェブ版プレスリリース 2017年「第八回桜開花予想」 https://jp.weathernews.com/news/16176/	スマホアプリ「ウェザーニューズタッチ」を ダウンロード後、『さくら Ch.』にアクセス	ウェブサイト「ウェザーニューズ」 『さくら Ch.』 https://weathernews.jp/s/sakura/

◆2017年「第八回桜開花予想」

<桜の開花前線は東北北部まで北上！来週は津軽海峡を渡り北海道へ>

先週中頃は、北海道で雪が降るなど寒の戻りがあったものの、4月は暖かい日が多くなっています。この影響で、信越や東北南部の市街地の桜は見頃を迎え、桜の開花前線は東北北部まで北上しました。今週前半は気温が高温傾向で、青森県内でも青森市を中心に少しずつ桜が咲き始めています。弘前公園(青森県)は4月19日に開花、24日に満開の予想です。



主要都市の桜開花予想

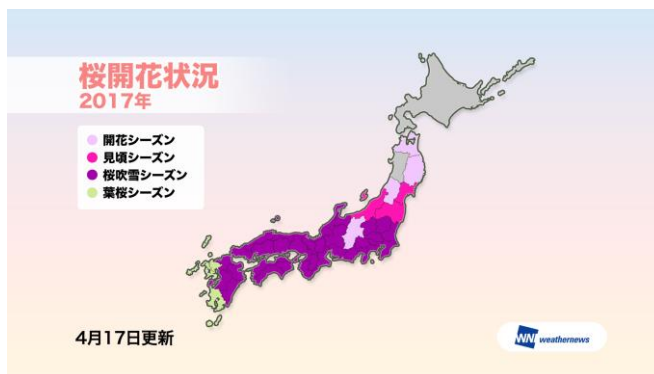
今週後半～来週前半は、北海道を中心に平年よ

り寒くなり、つぼみの生長は足踏みしますが、来週後半～5月は、平年より暖かい日が多い傾向で、つぼみの生長は一気に駆け足となります。来週後半には桜の開花前線が津軽海峡を渡り、北海道で桜の季節が始まります。開花時期は例年並で、五稜郭公園(北海道)は4月27日に開花、5月1日に満開、4日に桜吹雪の予想で、ちょうどGWにお花見を楽しむことができます。GW後半には、札幌市や帯広市の桜も満開となる予想です。

<春の嵐で見頃のピークを過ぎる桜も…天気回復後は早めにお花見へ>

今シーズンは、3月下旬～4月初めに花冷えの時期がありました。このため、東～西日本の桜の咲き方は、開

花から満開まで10日以上(東京23区では12日)かかったエリアと、開花から一気に満開(福井市では2日)を迎えたエリアの二分化が特徴として挙げられます。3月末に開花した東京23区などでは、桜の開花は早かったものの、満開が遅く、桜の時期が長く続きました。一方、4月に入って最高気温が20℃を超えた頃に開花した福井市などでは、一気に満開を迎えて華やかな景色を楽しめました。現在は、いずれも散り始め～葉桜が増え、新緑の季節に変わりつつあります。



都道府県ごとの桜開花状況マップ

高遠城址公園など長野県内の桜のほか、開成山公園(福島県)など東北南部の桜は、先週の一時的な寒の戻りが影響して、満開を迎えるのが遅くなったことが幸いし、今週前半の春の嵐を乗り越えることができそうです。とは言え、高温と強い雨風にさらされ、見頃のピークを過ぎてしまう桜、散り始める桜も出てきそうです。天気が回復したら、早めのお花見がおすすめです。

なお、信越の山沿いや岐阜県飛騨地方など標高の高いエリアの桜は、今週いよいよ開花となりそうです。

◆「全国つぼみ調査」による桜の生長状況

全国482本の桜(うちソメイヨシノ229本)を対象とした今シーズン8回目の「全国つぼみ調査」の結果、北海道の桜のつぼみは、引き続き昨年と比べると1週間近く生長が遅いものの、前回より確実に生長していることがわかりました。「先が黄色に」以上に生長し、硬い殻を脱いだつぼみが43%と前回調査より増え、「半分以上が緑に」になって丸く膨らんできたつぼみも現れました。早い桜はあと2週間ほどで咲き始める見込みです。



【凡例】
 ■まだ小さく硬い ■先が黄色に
 ■先が緑に ■半分以上が緑に
 ■先がピンクに ■花びらが見えた
 ■花の軸が伸びきった

※「全国つぼみ調査」について

ウェザーニューズでは、全国の桜の生長状況を調べるため、毎週木～土曜日の3日間、全国の一般の方に「全国つぼみ調査」の中で、つぼみの生長を7段階(まだ小さく硬い、先が黄色に、先が緑に、半分以上が緑に、先がピンクに、花びらが見えた、花の軸が伸びきった)で写真とともに報告していただいています。全国各地のつぼみの生長状況を細かく把握することで、気温上昇の影響で開花が早まりそうな場合や、寒の戻りで開花が遅れそうな場合も開花予想日を迅速に修正し、より精度の高い開花予想を行うことが可能になります。

「全国つぼみ調査」の報告ランク



<4月11日発表の桜開花予想との相違点>

気象実況と予測に基づく解析に加え、今シーズン8回目の「全国つぼみ調査」の結果を踏まえ、最新の桜開花予想を発表しました。北海道のつぼみの生長は、前回と変わらず昨年より1週間近く遅れています。加えて、5月にかけての天候についても、先週の見解から大きく変わらず周期的に変化し、気温は4月下旬は平年並、5月は平年より高い傾向が予想されることから、桜の開花時期は前回とほぼ同じとしました。

◆名所の桜開花予想

以下の表は、全国 700 カ所の名所から都道府県ごとに 1 カ所(北海道は 2 カ所)をピックアップしたものです。
 全国 700 カ所の名所の桜開花予想は、スマホアプリ「ウェザーニュースタッチ」やウェブサイト「ウェザーニューズ」の『さくら Ch.』からご覧いただけます。

エリア	都道府県	スポット名	開花日 (1 輪)	五分 咲き日	満開 開始日	桜吹雪 開始日	昨年の 開花日	例年の 開花日
北海道	北海道	五稜郭公園	4/27	4/30	5/1	5/4	4/24	4/28
		二十間道路桜並木 (エゾヤマザクラ)	5/5	5/7	5/8	5/10	4/30	5/4
東北	青森	弘前公園	4/19	4/22	4/24	4/27	4/18	4/22
	岩手	北上展勝地	4/17	4/20	4/23	4/26	4/12	4/17
	宮城	白石川堤一目千本桜	4/9	4/13	4/15	4/19	4/1	4/7
	秋田	桧木内川堤のソメイヨシノ	4/25	4/28	4/30	5/3	4/20	4/25
	山形	霞城公園	4/13	4/17	4/20	4/23	4/6	4/14
	福島	開成山公園	4/11	4/16	4/16	4/19	4/4	4/8
中部	長野	高遠城址公園 (タカトオコヒガンザクラ)	4/10	4/17	4/19	4/22	4/3	4/6

※本プレスリリースにおける例年の開花日は、2012～2016 年の過去 5 年の平均で算出しています。

※今年の 4/17 以前の日付は、実際の開花日・五分咲き日・満開開始日・桜吹雪開始日を掲載しています。

※すでに桜吹雪を迎えた名所は表から除いています。

◆全国の主要都市の開花予想(ソメイヨシノ)

※北海道はエゾヤマザクラやチシマザクラなどソメイヨシノ以外も含んでいます。

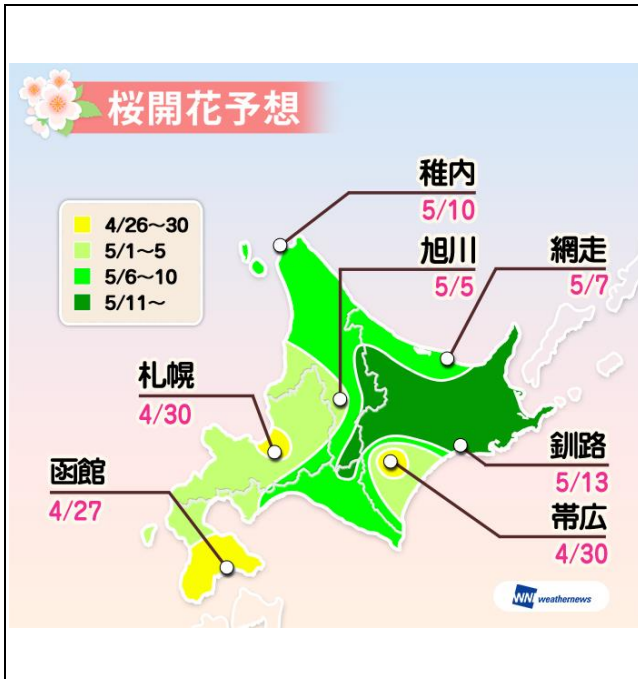
※開花日はその都市ごとの開花(1 輪)のピーク開始日を記載しています。(気象庁の気象官署とは異なります)

※今年の 4/17 以前の日付は、実際の開花日・満開日を掲載しています。

※すでに見頃のピークが過ぎた主要都市は表から除いています。

		今年の 開花予想日	昨年の 開花日	例年の 開花日	例年比	今年の 満開予想日	例年の 満開日
北海道	函館市	4/27	4/24	4/28	並(1 日早い)	5/1	5/3
	札幌市	4/30	4/25	4/30	並	5/5	5/3
	旭川市	5/5	5/3	5/5	並	5/9	5/7
	稚内市	5/10	5/11	5/12	並(2 日早い)	5/14	5/16
	帯広市	4/30	4/30	5/1	並(1 日早い)	5/4	5/4
	釧路市	5/13	5/10	5/13	並	5/18	5/16
	網走市	5/7	5/8	5/8	並(1 日早い)	5/11	5/11
東北	青森市	4/17	4/17	4/22	早い(5 日早い)	4/22	4/26
	盛岡市	4/17	4/11	4/16	並(1 日遅い)	4/23	4/24
	秋田市	4/16	4/14	4/18	並(2 日早い)	4/21	4/22
	山形市	4/13	4/6	4/13	並	4/17	4/17
	仙台市	4/7	4/1	4/7	並	4/13	4/12
	福島市	4/8	3/30	4/5	やや遅い(3 日遅い)	4/13	4/11
中部	長野市	4/11	4/3	4/8	やや遅い(3 日遅い)	4/17	4/12

◆各エリアの桜開花予想



五稜郭公園は27日に開花！GW後半は札幌で見頃

北海道の桜のつぼみは、43%が硬い殻を脱ぎ、日に日に生長する様子が見え始めます。すでに「半分以上が緑に」になって丸く膨らんできたつぼみもあります。ただ、つぼみの生長は、引き続き、昨年に比べると1週間近く遅い状況です。今週後半～来週前半は平年より気温が低いため、つぼみの生長はしばらく足踏みしますが、来週後半から暖かさが持ち直し、5月は平年より暖かい日が多い見込みです。このため、桜の開花時期は前回の見解から大きく変わらず、昨年より遅いものの例年並とし、早い桜はあと2週間ほどで開花となりそうです。

桜の開花前線は、4月26日頃に北海道へ上陸します。桜名所では松前公園から開花が始まり、五稜郭公園はちょうどGWにお花見を楽しむことができます。札幌市や帯広市の桜は4月30日に咲き始め、GW後半に見頃を迎える予想です。新ひだか町の二十間道路桜並木は、GW後半から桜が咲き始めそうです。その後、5月中旬にかけて、道北や道東へと開花が広がっていきます。例年、桜の開花前線は釧路市・根室市など道東でゴールを迎えます。釧路市の春採公園の桜の開花は、5月17日の見込みです。5月は平年より暖かい日が多い予想のため、ポカポカ陽気でお花見を楽しめそうです。ただ、5月中旬から上空に寒気が度々流れ込み、雷雨発生のおそれがあるため、その頃に満開を迎える道北や道東では、お花見の時期が短くなってしまいう可能性があります。

【東北】弘前公園は今週末～GW初めが見頃！

東北部は山沿いを除いて桜の開花が始まっており、福島県や宮城県では満開を迎えた桜も増えてきました。秋田県は沿岸から、岩手県は県南から桜が咲き始めていて、青森県でも青森市から少しずつ開花が始まっています。

弘前公園(青森県)近くからも、桜の「花びらが見えた」つぼみの報告が届いたため、開花の予想を早めました。4月19日に開花し、22日には五分咲き、24日には満開の予想で、GW初めまでお花見を楽しめそうです。

なお、今週前半は高温と強い雨風にさらされ、すでに満開となっている桜にとっては試練の時期です。白石川堤一目千本桜(宮城県)や信夫山公園(福島県)などでは、見頃のピークを過ぎてしまうものも出てきてしまいうそうです。一方で、霞城公園(山形県)など見頃を迎えたばかりの桜や、三春滝桜(福島県)のように咲き始めたばかりの桜は、散らずに乗り越えられそうです。今週末のお花見は、日差しが届く日曜日(23日)ほどおすすめです。朝晩と昼間の寒暖差が大きい時期のため、服装にご注意ください。

◆参考:ウェザーニュースの桜開花予想の定義

<名所700カ所の桜開花予想>

ウェザーニュースでは、木に「1輪以上」の花が初めて咲いた日を桜の「開花日」と定義しています。また、敷地内に複数の桜の木がある公園などの開花日は、「敷地内の桜の開花(1輪)がピークを迎える日」と定義しており、施設管理者などの判断を基準としています。

<主要都市の桜開花予想>

同じ地域の桜でも、樹齢や生育環境によって桜の開花日は1本1本異なります。身近な桜の開花日をより感覚に合った形でお伝えするため、各主要都市の開花日は、エリアを代表するある1本の木の開花日を基準とするのではなく、「その都市ごとの開花(1輪)のピーク開始日」を発表しています。ピーク開始日は、その都市の桜の2割が開花(1輪)する日と定義しています。(気象庁の気象官署とは異なります)

<例年の開花日>

例年の開花日は、2012～2016年の過去5年の平均で算出しています。近年の桜の開花日が早まる傾向を反映したためです。なお、例年の開花日と予想開花日の差が、±2日の場合は「例年並」、±3～4日は「やや早い」・「やや遅い」、±5～6日は「早い」・「遅い」、±7日以上は「非常に早い」・「非常に遅い」と表記しています。

<満開開始日>

8分咲き以上となった日を満開開始日と定義しています。



<都道府県ごとの桜開花状況マップ>

「さくらプロジェクト」でユーザーが見守る約 1 万本の桜の生長状況を元に、以下のように定義しています。

- ・開花シーズン: 2 割が開花した日
- ・見頃シーズン: 9 割が開花し、かつ、3 割が満開を迎えた日
- ・桜吹雪シーズン: 散り始め+葉桜の割合が、満開+もうすぐ満開の桜の割合を上回った日
- ・葉桜シーズン: 葉桜の割合が、散り始めの桜の割合を上回った日

◆参考: ウェザーニュースの桜開花予想の手法

ウェザーニュースでは、「さくらプロジェクト」に寄せられる桜のリポート、全国 700 カ所の桜の名所への独自取材をして得られた実況データ、今シーズンの実況気温・予想気温のデータをもとに予測した開花日を、「開花予想」として発表しています。

(1) 桜リポートの分析

ウェザーニュースでは、全国各地の一般の方(ウェザーリポーター)と“つぼみ”の段階から桜の生長を見守り、“開花”“満開”“桜吹雪”“葉桜”の過程を共に観察する取り組み「さくらプロジェクト」を 2004 年以降、毎年実施しています。2016 年の参加者は約 1 万人にのぼり、当社には昨年までの 13 年間にのべ約 17 万人の参加者から寄せられた 200 万通以上の桜リポートが蓄積されています。「桜開花予想」は、全国各地から届くつぼみの生長状況のリポートを取り入れ、1 本 1 本の木に対してピンポイントな予想を発表しています。

(2) 全国 700 カ所の桜の名所への取材データ

ウェザーニュースでは、全国の桜の名所 700 カ所に電話などで独自に取材を行い、桜のつぼみの生長状況や開花状況を調査しています。取材で得られる調査結果も統計的に分析し、開花予想に反映しています。

(3) 近年の統計データを分析

桜の開花予想を算出する際、過去の統計は分析の基本データとなります。通常、桜の開花予想には過去 30~50 年程度の長期間のデータを使用しますが、昨今の平均気温の上昇傾向により、長期の統計データでは、正確な開花予想の算出が難しくなってきました。ウェザーニュースでは気温が上昇傾向にある過去 20 年の統計データを基本データとして使用し、各地点の開花予想を算出しています。また、近年の急激な温暖化を考慮するために過去 10 年の統計データも参考にして分析を行っています。

(4) 最新の気象データをもとに気温の推移と開花予想を算出

桜の開花には、前年からの気温が大きく関係します。桜の順調な開花には、つぼみの生長を促す春の暖かさに加え、つぼみが休眠打破するために、前年の秋から冬にかけての寒さも必要です。また、開花のタイミングは 3 月の気温に大きく影響されます。3 月の気温が高く、春の訪れが早いほど桜のつぼみの生長は促進され、開花が早まる傾向にあります。一方、開花直前の時期に寒の戻りがあると、寒さが強まった日数だけ開花日が遅れることがあります。寒の戻りによる開花の遅れは、開花時期直前の「全国つぼみ調査」や独自週間予報等から予測に反映しています。また、全国 3,000 カ所に設置している気象観測システム「WITH センサー」の観測データも加味して予測を行っています。

